

研究課題名	Deep learning による腹部 CT からの門脈圧楔入圧の推定
研究の意義・目的	門脈圧亢進症は慢性肝疾患などを理由として、門脈圧が上昇することによる様々な症状、合併症の総称です。合併症は、食道胃静脈瘤出血、難治性腹水、肝性脳症、黄疸などであり、それぞれ致命的な疾患です。これらの門脈圧亢進症の診断基準のゴールドスタンダードは、門脈肝静脈圧格差（Hepatic venous pressure gradient: HVPG）測定ですが、カテーテルを挿入する必要があり、より低侵襲で簡単な推定法が望まれています。今回の研究は、腹部 CT 画像を AI（artificial intelligence:人工知能）を用いた方法で解析し、門脈静脈圧格差を類推するアルゴリズムを作成することが目的です。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2025年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2007年4月～2025年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院の放射線科で、慢性肝疾患の診断のため、肝静脈楔入圧が測定された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、CT 画像】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院放射線科のみで行い、他の機関に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院放射線科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 研究責任者 山本 晃
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 (担当者氏名) 山本 晃 電話番号：(06) 6645-3831 メールアドレス：radiology@med.osaka-cu.ac.jp